

2012 年度 事業報告

1. 認証・ライセンス事業

1-1 市場動向概況

ここ数年、外食市場におけるフェアトレード認証製品販売規模が世界的にも拡大を見せていることを受け、Fairtrade International(FLO)では、市場規模推定額の算出に際し、小売商品市場と外食市場とを区分して集計し、消費者が支払った金額という意味でより実態に近い市場規模を算出する方針を出し、2 年ほど前より各国で順次、新算出方法へ切り替えてきた。2012 年度、その新算出方法による日本の認証製品市場規模は、推定約 72 億 8800 万円。同算出方法で割り出した前年度の市場規模と比較して 117.4%の伸びを見せた。

(2013 年 3 月 31 日時点)

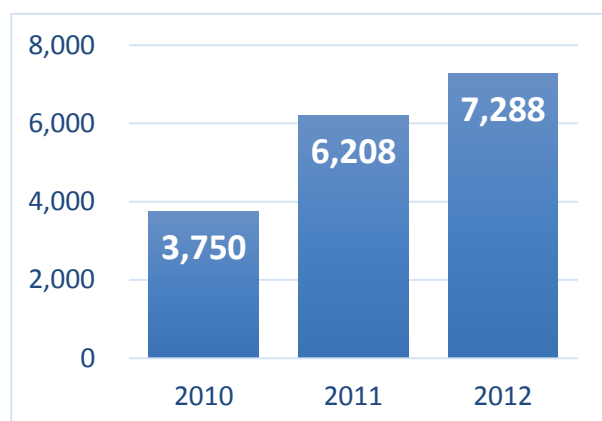
項目	2012 年度	2011 年度	前年度対比
フェアトレード参加組織(注 1)	151 組織	129 組織	117%
ライセンシー(注 2)	51 組織	49 組織	104%
ライセンス収入(税抜き)	21,382,823 円	20,514,499 円	104%

(注 1)FLJ 登録組織・FLO-CERT 認証組織、製造委託、海外完成品輸入組織など

(注 2)最終製品の販売者、ブランドオーナー

<国内フェアトレード認証製品推定市場規模推移>

(単位:百万円)

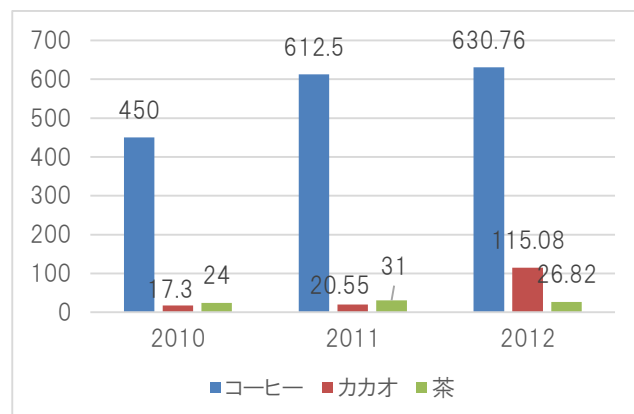


※金額は、小売と外食市場とを区分した新算出方法による

引き続き、全市場におけるコーヒーの構成比が高い状況だが、カカオを主原料としたチョコレート製品の広がりにより、カカオの構成比が高まった。

<国内フェアトレード認証各産品販売数量推移>

(単位:トン)



<産品カテゴリー構成比推移(金額ベース)>

	2010 年	2011 年	2012 年
コーヒー	83.5%	89.7%	89.0%
カカオ	0.8%	1.0 %	5.6%
茶	4.9%	2.7%	1.9%

1-2 新規登録組織

組織名	役割	産品
株式会社クリエイター・セス	輸入、ライセンシー	コーヒー
日東富士製粉株式会社	製造	カカオ

株式会社チチカカ	ライセンス	繊維
株式会社私の台所	製造	カカオ
オーサワジャパン株式会社	輸入、ライセンス	オイルシード、油性果実
第一紡績株式会社	製造、ライセンス	繊維
日本生活協同組合連合会	ライセンス	コーヒー
株式会社デコラージュ	輸入、製造、ライセンス	茶、ハーブ・香辛料
株式会社モンロワール	製造、ライセンス	カカオ

1-3 主なマーケットの動き

組織名	時期	産品
スターバックス コーヒー ジャパン株式会社	4月～	フェアトレード認証コーヒー「フェアトレード イタリアンロースト」発売
ベン&ジェリーズ	4月	日本上陸第1号店、表参道ヒルズ店オープン その後、吉祥寺店、豊洲店もオープン
イオントップバリュ株式会社	春～	商品リニューアル、ラインナップ拡充 - レギュラーコーヒー各種 - ブラックコーヒー無糖缶コーヒー - チョコレート(高・大学生とのパッケージデザイン)
株式会社立花商店	7月～	本格的なスペシャルティコーヒーが手軽に淹れられるパウチ商品「Grower's Cup」をデンマークから輸入販売
株式会社良品計画	秋～	チョコレート商品ラインナップ拡充 - 自分でつくるシリーズ ガトーショコラ - ミルクチョコがけ/ホワイトチョコがけ コーヒー豆 - 製菓用チョコ スイート/ホワイト
わかちあいプロジェクト	9月	東日本大震災で被災したアジア学院の再建のため、世界初、FSC® (Forest Stewardship Council 森林管理協議会)/フェアトレード認証の床材をチリの小規模林業生産者から輸入
株式会社キャメル珈琲	10月	全国 KALDI コーヒーファーム 300 店舗で「フェアトレードコーヒーキャンペーン」実施
株式会社リーラ	10月～	オーガニック&フェアトレード認証コットンを素材にした英国発のアンダーウェアブランド「PANTS to Poverty」の卸し事業を本格化
第一紡績株式会社	11月	国内で紡績から最終縫製まで一貫製造体制を持つ企業としては初の登録、完成品ではなく認証原綿の輸入も国内初
株式会社チチカカ	12月～	エスニック衣料雑貨ブランドとしては国内初、フェアトレード認証トートバッグを発売
株式会社モンロワール	1月～	神戸元町・三宮・麻布十番・南青山等の直営店舗と百貨店スイーツ売場で、バレンタイン向け商品を発売
株式会社フラワーオークションジャパン	2月	フェアトレード認証バラのスリーブを大学生と共同でデザイン企画・開発

わかちあいプロジェクト	2 月	アフリカ南部・マラウイより砂糖を輸入し、国内初、フェアトレード認証スティックシュガーを発売
日本生活協同組合連合会	3 月～	ブラジル産フェアトレード認証アラビカコーヒーを原料としたコープ商品としては初となるフェアトレード認証製品を発売

1-4 監査業務

下表のとおり、合計 23 社に対してフェアトレード基準の遵守状況を確認するため監査を実施した。

< 監査対象組織 >

役割	監査対象組織数
ライセンシー	3 社
製造+ライセンシー	8 社
製造	3 社
卸	2 社
輸入+製造+卸+ライセンシー	7 社
合計	23 社

< 監査での指摘事項(主要項目) >

- ・売買関係書類への記載内容の不備(「フェアトレード認証」、FLO ID ナンバー、プレミアム内訳の記載漏れ等)
- ・フェアトレード認証ラベルの使用許可申請書提出の徹底
- ・委託製造先の管理監督の書面化
- ・フェアトレード認証ラベル入りパッケージの在庫管理

1-5 ステークホルダーとのコミュニケーション促進・ネットワーク構築

- ・既存登録企業向け/新規検討企業向け 個別フェアトレード勉強会の実施(通年)
- ・FLO ライセンスマネージャーとの情報交換会(第 1 回 ステップアップ勉強会)の開催(10 月)
- ・大日本印刷株式会社との共催で「第 6 回ステークホルダー会合」開催(2 月 4 日)

1-6 その他

- ・チョコレート製菓店登録新スキームの確立
- ・フェアトレード認証製品取扱小売店・カフェ・レストランのウェブサイト掲載受付開始
- ・国内のフェアトレード認証化粧品 & パーソナルケア製品の認証基準公開(7 月基準公開、10 月～認証開始)

2. 普及啓発・広報事業

中学校の英語の教科書でフェアトレードおよびフェアトレード認証ラベルが取り上げられたことにより、中学校を中心として教育機関からの問い合わせが急増。広報誌や DVD などのフェアトレード教材の提供等により、教育機関へのサポートを強化した。

2-1 講演・メディア掲載

セミナー・シンポジウム等での講演	<ul style="list-style-type: none"> - 倫理的購入・CSR 調達ガイドライン研究会 - フェアトレードコンシェルジュ講座 - JICA 中小規模コーヒー生産者輸出競争力強化研修 - サステナブル・フード・ビジネス研究会セミナー - JETRO 主催「シエラレオネ・カカオ & チョコレートセミナー」 - 化粧品の動物実験を考えるシンポジウム <p style="text-align: right;">他、合計 12 回</p>
------------------	---

メディア掲載	テレビ(1)、ラジオ(2)、新聞(5)、雑誌(5)、リーフレット(4)、冊子(2)、Web(4)、その他(1)
書籍・教材への掲載	書籍(5)、教材(15)

2-2 ウェブサイト、SNS での情報発信強化

- ・ウェブサイトのリニューアル(情報ナビゲーションの改善、内容の充実化)
- ・Facebook での情報発信強化

2-3 教育

- ・平成 24 年度版 中学 3 年生英語教科書「NEW HORIZON English Course 3」(東京書籍)での認証ラベル掲載
- ・聖学院中学校の公民の授業でフェアトレードの授業(2 月)
- ・中・高校の教員へフェアトレードの指導に関するアンケートの実施

2-4 その他普及啓発・広報活動

- ・フェアトレード月間キャンペーンの実施(5 月)
- ・学生向け第 1 回勉強会の実施(3 月)
- ・広報物の制作(広報誌 FAIRspirits Vol.6、ステッカー、クリアフォルダー)
- ・広報物・教材の販売・提供
- ・一般問合せ対応

3. ネットワーキング・連携活動

3-1 他団体との連携

- ・チョコレート・アライアンスへのコアメンバー参加、「愛のチョコレートキャンペーン 2013」の実施(10 月～3 月)
- ・フェアトレードタウン運動の推進(一般社団法人フェアトレードタウン・ジャパンへの理事参加)

3-2 FLO

- (1) FLO 国際ライセンスマネージャー、ローラ・バリントン氏来日(10 月)
 - ・FLO 認証・ライセンス事業、アジア市場の最新動向の共有
 - ・ステークホルダーとの情報交換会
- (2) 国際フェアトレード基準関連
 - ・化粧品の認証基準のフォローアップ
 - ・「Gold 金」の認証基準のフォローアップ
 - ・例外基準のフォローアップ
- (3) その他
 - ・定款改定(生産者ネットワーク組織とラベル推進組織との投票権の平等化)

4. FLJ 組織運営

4-1 組織基盤強化

4-1-1 ラベル運動普及に向けた参加組織との連携体制構築(パナソニック NPO サポートファンド助成事業)

テクニカルアシスタントのコンサルティングを受けながら、企業が自発的にラベル運動を広げる仕組みづくりをするための活動計画を作成し運用トライアルまでを行った。

- ・個別企業での社内勉強会の実施
- ・ステップアップ勉強会 & 懇親会の実施
- ・営業ツールの作成(3 分でフェアトレードがわかる動画の活用、プレゼン資料、ステッカーの作成)
- ・情報発信の強化(ウェブサイト、Facebook 等の充実)
- ・ステークホルダー会合の開催
- ・内部勉強会の実施

4-1-2 インターン継続受入

昨年度から開始した学生インターン受入れを継続し、10 月と 2 月に各 1 名ずつ受入れた。Facebook や twitter などの SNS を活用した情報発信を強化したことに加え、全国の大学生とのネットワーク強化にも取り組み、3 月には、フェアトレード認証制度の理解促進を目的に、大学生対象の勉強会を初めて実施した。

4-1-3 テクニカルサポーター翻訳チームの運営

昨年度結成した翻訳サポーターチームへ継続して各種英文書類の翻訳を依頼、サポートをいただいた。

4-2 FLJ の内部監査

2013 年 4 月 2 日、監査人寺田寛重氏による FLJ に対する内部監査を実施。

監査での主な指摘事項

<重要改善事項>

(1) 認証手順、監査手順の明確化

「認証規定」「監査規定」を策定して、認証目的、認証手順、認証と監査の関係などについて明確にする必要がある。

⇒2013 年度より「監査規定」を定めて施行予定である。

<軽微改善事項>

(1) 四半期販売報告書の提出遅延について

ライセンサー・製造組織等からの四半期報告書の提出が遅い。メールによる自動督促等の努力によって、段々と改善されてきているが、まだ約20%の企業の提出が遅延している。

(2) 年間登録料の支払い遅延

(3) 委託製造申請書の未提出

(4) フェアトレード認証ラベルの使用許可申請書の未提出

⇒各登録組織に対し、指導徹底していくことで改善を目指す。

4-3 内部勉強会

昨年度に引き続き、理事会および事務局の組織基盤強化を目的に、各分野の専門家を講師に招き、勉強会を実施した。(以下、回数は昨年度からの通算)

・第3回 2012 年 8 月 31 日(金) 17:30~19:00

講師:大槻 茂氏 (広報戦略研究所代表)

内容:広報と危機管理についての考え方、危機管理のためのアドバイス。(広報内容の充実、顧問弁護士利用の推奨、内部向け Q&A 作成など)

・第4回:2012 年 9 月 30 日(土) 16:00~18:00

講師:作吉 むつ美氏(FLJ 監査人、有機検査・判定・コンサルティング)

内容:オーガニックコットン認証の仕組み、認証スキームが確立するまでの苦労、問題点など

・第5回:2012 年 11 月 15 日(木) 18:00~19:30

講師:山本 良一氏(東京大学 名誉教授、国際グリーン購入ネットワーク会長、LCA 日本フォーラム会 倫理的購入・CSR 調達ガイドライン研究会呼びかけ人)

内容:国際グリーン購入ネットワークの活動、社会運動を拡大していく上での産業や行政からの支持獲得、倫理的購入・CSR 調達ガイドライン研究会(通称:エシカル購入研究会)立上げの経緯と今後の展望など

・第6回:2012 年 12 月 18 日(木) 16:00~17:30

講師:野村 尚克氏(ソーシャルプロデュース、コース・リレイテッド・マーケティング)

内容:最新のコースマーケティングの動向、社会的取組みに対する企業の意識の変化、フェアトレード業界の動向など。

4-4 会員・サポーター(2013年3月31日時点)

正会員:	15
サポーター:	14

・通常総会開催

日時: 2012 年 6 月 16 日(土) 13:00~15:00

場所: FLJ事務所

議題: 決議事項 (第1号議案) 2011年度 事業に関する事項
(第2号議案) 2011年度 決算に関する事項
報告事項 (1)2012年度 事業計画
(2)2012年度 収支予算

4-5 理事会運営

2012年度は6回の理事会を開催した。

- ・第1回:2012年4月12日(木)13:00~19:00
 - ・パナソニック NPO サポートファンド助成事業の進捗報告
 - ・2011年度収支決算承認/2011年度事業報告承認
 - ・2012年度予算確認
 - ・事務局スタッフ給与関連
- ・第2回:2012年6月16日(土)15:00~18:30
 - ・化粧品の認証基準
 - ・理事増員に関して
- ・第3回:2012年8月31日(金)14:30-17:30
 - ・金の認証導入
 - ・非認証砂糖の例外承認
- ・第4回:2012年9月29日(土)~10月1日(月) 合宿@YMCA 東山荘
 - ・金の認証基準
 - ・FLO 方針等の確認
 - ・2015年中期目標の振り返りおよび成長戦略
 - ・事務局人事
- ・第5回:2013年1月10日(木)14:00~18:00
 - ・2012年度収支実績と見込
 - ・2013年度数値計画と戦略の方向性
 - ・例外規定の承認
 - ・FLO 関係のアップデート
- ・第6回:2013年3月14日(木)14:30~17:00
 - ・2012年度収支実績と見込
 - ・2013年度予算と事業計画
 - ・役員任期